

令和2年東北地区高等学校軟式野球宮城大会

1回戦	学校開催	1時間	51分			打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併	
仙 台 第 一	0 0 0	0 0 0		0	0	【仙】	20	3	0	0	0	3	8	5	5	1
東 北 学 院	2 1 2	4 0 1x		10	10	【東】	25	7	8	5	1	4	4	4	0	0
(6回コールド)																
(球)	野田 学 (一)	安部吉彦 (二)	新田健治 (三)	佐藤亮樹		▽本塁打					今野 1 (学)					
【仙】	佐々木, 本郷	—	菊地			▽三塁打					影山 1 (学)					
【東】	星, 高須	—	今野			▽二塁打					なし					(仙)
▽暴投	佐々木1(仙), 星1, 高須1(学)		▽捕逸	菊地1(仙)							なし					(東)

【評】

東北学院は初回4番影山のセンター前に2点タイムリーで先制。その後も得点を重ね4回に今野が右翼に2ランホームランを打ち仙台第一を大きく突き放す。仙台第一は先発の佐々木涼がリズムを掴めず2番手の本郷にバトンを繋いだ。変わった直後3人で抑えると攻撃にもリズムが生まれ4回に1アウト満塁のチャンスを作る。しかし、東北学院先発の星の前にあと1本が出なかった。

1回戦	学校開催	3時間	10分			打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併	
尚 綱 学 院	2 2 0	0 3 1		0 0 0	8	【尚】	35	9	5	10	0	5	6	5	3	1
泉	0 0 2	0 1 0		0 0 0	3	【泉】	33	7	1	1	3	4	8	10	2	1
()																
(球)	山館浩樹 (一)	細川和行 (二)	山田和行 (三)	千葉裕介		▽本塁打					なし					
【尚】	小松山, 塚本, 小松山, 村井	—	金井田			▽三塁打					なし					
【泉】	福土, 須藤, 江澤, 鎌田	—	富久尾, 金澤			▽二塁打					幡本 1, 佐藤 1, 小松山 1					(尚)
▽暴投	小松山 2, 須藤 1, 鎌田 1		▽捕逸	金井田 2							江澤 2, 村山 1					(泉)

【評】

初回、尚綱学院は、フォアボールやクリーンアップの連打で先制点をもぎ取った。2回にも連打で得点を加えた次の回、泉高校も反撃を見せ2点を返すも、尚綱学院エース小松山がしっかりと抑え、流れを食い止めた。尚綱学院は5回に3点を加え大きくリードした。降雨により10分の中断をはさみ、その後も泉高校は粘り強く反撃したが、エースの安定感と打撃力、そして最後まで集中力を保ち続けた尚綱学院に軍配があがった。

1回戦	学校開催	2時間	21分			打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併	
仙 台 第 二	0 0 0	0 0 0		0 0 3	3	【仙】	33	7	3	4	0	1	5	4	4	0
仙 台 第 二	0 0 0	0 0 1		0 0 0	1	【二】	29	5	1	3	1	8	8	10	3	0
()																
(球)	布田秀斗 (一)	石川英孝 (二)	遊佐敏彦 (三)	津久家敏彦		▽本塁打					なし					
【仙】	徳田, 後藤, 秋元	—	秋元, 小松			▽三塁打					なし					
【二】	村山, 齊藤, 氏家	—	佐藤駿			▽二塁打					佐々木智, 佐々木歩					(仙)
▽暴投	なし		▽捕逸	なし							なし					(二)

【評】

仙台徳田、仙台第二吉田の先発で試合が始まった。試合は投手戦となり両チームともリズムよく投げる徳田、吉田の前になかなか得点を奪えずにいた。試合が動いたのは、6回裏仙台第二の攻撃。仙台先発の徳田から後藤に交代した回であった。四球からボークとバッテリーミスが重なり1点を先制。試合はそのまま最終回へ。9回表仙台の攻撃。仙台第二先発吉田にアクシデント。仙台は2本の長打を含む4連打で3点を奪い逆転した。最終回仙台第二は先頭を四球で出塁させるも変わっていた仙台秋元から得点することができなかった。

1回戦	学校開催	2時間	0分			打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併	
東 北 内 海	2 0 0	0 0 0		0 0 0	2	【東】	28	1	0	0	1	1	9	1	1	1
仙 台 工 業	2 2 1	0 0 0		0 0 0	5	【仙】	30	9	5	1	2	6	4	9	1	3
()																
(球)	加藤修一 (一)	高橋正博 (二)	藤村一也 (三)	千葉裕介		▽本塁打					なし					
【東】	内海, 日下	—	菊池			▽三塁打					齊藤, 阿部, 清水 (石)					
【仙】	本木	—	阿部			▽二塁打					安藤, 幕田					(東)
▽暴投	なし		▽捕逸	なし							なし					(仙)

【評】

東北内海、仙台工業桃井の先発で試合が始まった。試合は初回から動く。1回表東北高校は先頭の宍戸のサーード強襲の安打を皮切りに相手のエラーも重なり2点を先制する。対する仙台工業は2番からの3連打で同点に追いつく。続く2回も8番大沼の3塁打でチャンスを作ると1番加藤の内野ゴロの間で1点を勝ち越す。3回には7番阿部嵩のホームランで1点を加え、ダメ押し。仙台工業の打撃が目立った試合であった。